討議資料

夢を希望に 一歩一歩 着実に前進!

軽石よしのり通信

平成25年4月号 発行元 軽石義則事務所 盛岡市紺屋町7-6 TEL 019-624-6116 編集者 栗谷川 昌彦

●ダルビッシュ選手凄いです。

2013. 04. 03

本日は凄い試合がありました。メジャーでの完全試合は難関であることは言うまでもありませんが、26人までの勢いと下駄をはくまで分かでいることを再確認いたしました。甲子園では浦和学院が初優勝を成し遂げました。それぞれの選手の活躍に敬意します。にはおります。『なぜですか?』は共通しているのないと考えております。『なぜですか?』は共通しているらいと考えております。岩手の復興は誰もが取り組まなければいたいかと考えております。台後の対応については、岩手の現場が答えを出すことです。皆様のコメントをお待ちしております。いろいろなご意見で望まればいる。皆様のコメントをお待ちしております。いろいろなごを記します。皆様のコメントをお待ちしております。皆様のコメントをお待ちしております。皆様のコメントをお待ちしております。皆様のコメントをお待ちしております。皆様のコメントをお待ちしております。皆様のコメントをお待ちしております。

●本日は吹雪から始まりました。

2013. 04. 12

春は確実に近づいておりますが、いきなり吹雪の朝でした。本日は私の後援会の総会などが開催されました。年度初めで金曜日という条件でしたが、多い皆様にご出席いただきましたことに衷心より感謝申し上げます。ご来賓かなおいたは過分なる激励をいただき、今後さらに気を引き締めて活動して行にないたならないと認識いたしました。特に、会場の皆様を前にボクシングにせいて2階級制覇いたしまいた八重樫東選手の県民栄誉賞について設定されていただきました。会場全体の後押しをいただきました。東日本大震災津港といただきました。会場全体の後押しをいただきました。東日本大震災津港といただきました。会場全体の後押しをいただきました。全場全体の後押しをいただきました。全場をあると考えていただきまして、厳しい環境の中、県民に引き下がらななり、その後間敗を期したうえで名と考えてもの世界チャンピオンとなり、その後間敗を期したうえであると考えていかと思われる社会」が実感できなければ、次世代を担うすくなるのでありしたら報われる社会」が実感できなければ、次世代を担うすくなるのであります。を報われる対応を強く求めました。今後も継続して取り組む所存であります。皆様のコメントをお待ちしております。軽石拝

2013. 04. 14

本日は町内会の資源回収に参加してからの一日でした。 しばらくぶりで床屋さんに行き、鉈屋町のお祭りに行ってまいりました。 多くの皆様が参加されておりましたし、町屋の雰囲気に触れることが出来ました。

時間が無くてすべてを見学できなかったことが残念です。 またの機会を楽しみにしております。軽石拝





今回見逃したところは来年行きたいです。無くしてはいけないものは大切にしていく所存であります。皆様のコメントをお待ちしております。

●今日は常任委員会です。

2013.04.16

本日は休会中の継続調査として、商工文教委員会が開催されました。岩手県における自動車産業振興施策について調査いたしました。サプライチェーン構築支援、研究開発促進、人材育成、立地環境整備のアクションプランについて事務局から説明を受け、質疑が行われました。『地域完結型』の開発生産拠点として、復興を含めた東北の牽引役となる目的であります。現状は好調でありますが、今後さらに取り組まなければならない課題もあります。くわえて、今後も社会環境や人口の変化などをどのように捉えていくのかも大切なことであると考えております。岩手の主要産業としていくことは、雇用の確保には重要であります。産業育成と雇用の確保は表裏一体の取り組みですから、これまで同様に活動する所存であります。また、「山田町緊急雇用創出事業委託に関する第三者調査委員会報告書」について説明を受けました。事業主体の責任と県の指導体制について質疑が交わされました。皆様のコメントをお待ちしております。軽石拝

●医療から国体、そしてILCまでの一日でした。

2013. 04. 17

本日は、10:00~地域医療確保対策特別委員会が開催され、『長寿社会と在 宅医療』について独立行政法人国立長寿医療研究センター在宅連携医療部長三 浦久幸先生をお招きし調査いたしました。講演の中で就業年齢の高さから長寿 につながっている現実は岩手県にも当てはまるものと共感いたしました。在宅 医療については地域環境や条件によりモデル事業が成り立つかは疑問が残り ました。岩手には岩手の課題がありますし、そこに合わせた対策が必要である と考えております。その後、現場の状況をお聞きすることが出来ましたので、 とてもタイミングのいい一日でした。「TPP」だけではなく「PPk」につ いても真剣に取り組む必要を強く感じました。意味を確認したい皆さんはコメ ントをお願いいたします。お待ちしております。午後 1:00~県政調査会にて 『希望郷いわて国体に向けて』について公益財団法人岩手県体育協会副会長兼 鷹觜文昭先生からご講演いただきました。震災後の新しい岩手型国体 に向けての取り組み状況と今後の課題について詳しく説明を受けました。ご本 人も前回の岩手国体にウエイトリフティング選手として参加した経験に基づ き、復興の発信につなげていく意欲を感じました。私も出来る限りの協力をす る所存であります。その後、岩手県議会国際リニアコライダー東北誘致議員連 盟平成 25 年度第 1 回総会が開催されました。その中で、「国際リニアコライ ダーの東北誘致に向けた現状と課題について」と題して、東北大学研究推進本 部客員教授 吉岡正和先生からご講演をいただきました。物理の分かりやすい 説明から始まり、国際プロジェクトとしてのILCによるいろいろな効果につ いて説明がありました。短時間ではありましたがイメージが高まりました。欧 州や米国を含めて科学的見地からの立地を検討していること、地質的にも最適 であるとのお話があったことは次世代を担う子供たちに宝物を引き継げるこ とであると考えております。皆様のコメントをお待ちしております。軽石拝

●休会中の調査、三日目終了しました。

2013. 04. 18

本日は、10:00~東日本大震災津波復興特別委員会が開催されました。『被 災事業者の再生支援について』をテーマとして、岩手県産業復興相談センター 統括責任者 谷藤晴紀先生とシニアマネジャー古谷元先生をお招きし、取り組 み状況と課題について報告を受け、その後質疑が交わされました。相談事業が 成果を上げていることは大切であります。今後さらに必要な事業であると考え ております。午後からは、平成25年度岩手県議会森林・林業政策研究会懇談 会が開催され、「広葉樹林業・林産業の危機と緊急対策の提言」について岩手 大学農学部准教授伊藤幸男先生から、「地元広葉樹材の大口需要家としてのパ ルプ・製紙工場が地域経済に及ぼす影響」について森林総合研究所東北支所長 小牧貴彰先生から、「岩手県の広葉樹林業における北上ハイテクペーパーの役 割」について北上ハイテクペーパー株式会社取締役パルプ製造部長星野義晃先 生と新北菱林産株式会社常務取締役今堀悟朗先生からそれぞれの現状と課題 について提起をいただきました。その後質疑が交わされ、取り巻く状況の厳し さが具体的に知ることが出来ました。広大な森林資源を有する本県として、今 後の取り組みは重要なことであると考えております。さらに現場の状況を確認 し取り組む所存であります。17:30~「被災市町村の復興まちづくりと災害 公営住宅の整備について」をテーマとして、独立行政法人都市再生機構岩手震 災復興支援局 局長 佐々木功先生からの講演会に参加いたしました。UR都 市機構が進めている事業について詳しく説明をいただきました。震災直後から 復旧・復興にご尽力いただいており、復興を加速するためにも期待されており ます。復興を加速させることの答えは現場にあることを肝に銘じて、今後も取 り組みを進める所存であります。皆様からのコメントをお待ちしております。 軽石拝

●現場の声を大切に!

2013. 04. 26

昨日は、18:30~大槌町中央公民館におきまして「本音で語ろう県議会 大槌町会場」が開催され出席いたしました。最近は大槌に縁がありまして、町長をはじめ幹部の皆様や町議会関係者の皆様とまたお会いいたしました。意見交換では、堤防工事の進捗状況や港湾に関することなどを中心に、復興の現状と県議会での取り組みなどについて質疑を交わし要望が出されました。やはり、現場にこそ答えがあることを再確認出来ましたし、被災地での不安を解消するための努力をより一層していかなければならないと思いました。いただきましたご意見ご要望をしっかり受け止め、今後の活動に活かしていく所存であります。参加された皆様に感謝の意と敬意を表し、御礼申し上げます。軽石拝



かるいし <mark>軽石よしのり事務所のご案内</mark>

住所 盛岡市紺屋町7-6

電話 019-624-6116 FAX 019-622-6537

公式 HP http://karunet.jp/

(まことに恐縮ですが、駐車場をご用意 しておりません。公共交通機関または お近くの有料駐車場をご利用願います。)

∄携帯サイト

携帯サイトはこちらから >>

http://karunet.jp/m/



